

**推計上
必要**

問13 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。地域子育て支援拠点事業は、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、市内15ヶ所の「子育てひろば」で行っています。「子育てひろば」でよく利用されている施設の番号とおおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

開催場所	利用回数（頻度）
	1週当たり（ ）回 程度 1ヶ月当たり（ ）回 程度
	1週当たり（ ）回 程度 1ヶ月当たり（ ）回 程度
	1週当たり（ ）回 程度 1ヶ月当たり（ ）回 程度
	1週当たり（ ）回 程度 1ヶ月当たり（ ）回 程度

1. 親子サロン（子育て総合センター） 2. 武庫川女子大学子育てひろば（武庫川女子大学）
 3. しゅくたん広場（夙川学院短期大学） 4. さぼさぼ（関西学院子どもセンター）
 5. つぼみのひろば（つぼみの子保育園） 6. ほおずき子育てひろば（まつぼっくり保育園）
 7. むつみ児童館 8. 浜脇児童館 9. 津門児童館
 10. 鳴尾児童館 11. 大社児童センター 12. 高須児童センター
 13. 段上児童館 14. 塩瀬児童センター 15. 山口児童センター

**推計上
必要**

問13-1 問13のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。また、利用したいすべての施設を（ ）内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが今後利用したい
 1週当たり（ ）回 程度 1ヶ月当たり（ ）回 程度
 それは、どの施設ですか。問13の1～15の中から利用したい施設をご記入ください。
 （ ）
2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい
 1週当たり 更に（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり 更に（ ）回 程度
 それは、どの施設ですか。問13の1～15の中から利用したい施設をご記入ください。
 （ ）
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問14 問13の事業の類似事業で、社会福祉協議会の各分区で行われている「子育て地域サロン」があります。よく利用される「子育て地域サロン」の施設の名前または分区の名前とおおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

よく利用する「子育て地域サロン」	利用回数（頻度）
（例）浜脇公民館	1ヶ月当たり（ 1 ）回 程度
	1ヶ月当たり（ ）回 程度
	1ヶ月当たり（ ）回 程度
	1ヶ月当たり（ ）回 程度
	1ヶ月当たり（ ）回 程度

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名： ）
 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
3. 利用していない

分割 類似の「地域子育てサロン」を分割し、ここでは、開催場所ごとの利用状況を把握する設問に変更

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（自治体における料金設定を示す）

1. 利用していないが、今後利用したい
 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

分割 類似施設として「子育て地域サロン」詳細を問う設問に分割

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

**推計上
必要**

問16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、現在西宮市では該当する事業はありません。今後市内に1～2ヶ所の限定的な設置が想定されます。また、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※教育・保育事業とは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 ()時から ()時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 ()時から ()時まで

問16で土曜日や日曜日・祝日に「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問16-1 毎週ではなく月に1～2回、利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他()

「幼稚園」を利用されている方うかがいます。

**推計上
必要**

問17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 ()時から ()時まで

問17で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問17-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他()

設問文に、西宮市の現状を「該当する事業はありません。今後市内に1～2ヶ所の限定的な設置が想定されます」と追加。

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

問20-1 問20の(1)もしくは(2)で、「3月に1～2回は利用したい」に○をつけた方うかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他()

問21 「幼稚園」を利用されている方うかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

問21-1 問21で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方うかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他()

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問10で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していない方は、問19にお進みください。

推計上必要

問18 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問18-1へ 2. なかった ⇒ 問19へ

推計上必要

問18-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も[]内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	[]	⇒ 問18-2へ
イ. 母親が休んだ	[]	
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	[]	⇒ 問18-5へ
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	[]	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	[]	
カ. ベビーシッター(居宅訪問型保育)を利用した	[]	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	[]	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	[]	
ケ. その他()	[]	

※「キ:ファミリーサポートセンター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問15で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問23にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
1. あった ⇒ 問22-1へ 2. なかった ⇒ 問23へ

問22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。)

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□日
イ. 母親が休んだ	□□日
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	□□日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□□日
カ. ベビーシッターを利用した	□□日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□日
ケ. その他()	□□日

※「キ:ファミリーサポートセンター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

病児・病後児保育 保育所事業課 0798-35-3164

事業概要 病気やけがの最中(病児)または回復期(病後児)で、保育所等での集団生活が困難な子どもを一時的に預かります。

申込方法 事前に登録が必要です。保育所事業課または下記の実施場所へ利用登録申請書を提出してください。減免制度に該当する場合は、証明する書類が必要です。(緊急の場合は、利用登録と利用申込を同時に行うことも可能です。)

利用方法 月～金曜日 8:00～18:00
土曜日 8:00～13:00
日曜日祝日及び年末年始は利用不可。7日間で継続利用可

利用料金 1日2,000円(土曜日と同額。生活保護世帯は減免制度あり)
給食費:500円(弁当持参も可能)
医療費:受診した場合は自己負担額実費

つばみの子保育園病児保育ルーム
所在地/林田町 8-42(P.73 F-4) 電話/0798-66-6673

明和病院内病後児保育ルーム
所在地/上嶋岡町 5-13(P.75 O-3) 電話/0798-47-8070

●病児保育

対象 生後6か月から小学3年生までの児童

利用条件 ・病気等で集団生活が困難で、病児保育ルームの利用を医師から許可されていること(利用される場合は医療機関の受診が必要です)
・保護者の就労や病気、冠婚葬祭など社会的理由で、家庭での保育が困難なこと

定員 6名(隔離室1室)

対象となる病気やけがの範囲
入院を必要としない病気・けがが対象となります。
①風邪や下痢など、子どもが日常的にかかる病気
②水ぼうそう、風しんなどの感染症
③ぜん息などの慢性疾患
④骨折ややけどなどの外傷性疾患
※病気の急変の可能性が高い場合、新型インフルエンザなどの感染性の強い疾患の場合は、お預かりできないこともありますので、ご了承ください。

●病後児保育

対象 生後57日以降から小学3年生までの児童

利用条件 ・病気等で集団生活が困難で、病後児保育ルームの利用を医師から許可されていること(利用される場合は医療機関の受診が必要です)
・保護者の就労や病気、冠婚葬祭など社会的理由で、家庭での保育が困難なこと

定員 2名

対象となる病気やけがの回復期範囲
病気やけがの回復期であることが条件となります。
①風邪や下痢など、子どもが日常的にかかる病気
②水ぼうそう、風しんなどの感染症
③ぜん息などの慢性疾患
④骨折ややけどなどの外傷性疾患
※発熱があったり(38℃以上)、他の児童への感染の恐れのある場合は利用できません。

病児・病後児保育の資料を掲載

推計上
必要

問18-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問18-2 その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。

※なお、市内に2か所と限定的で、居住地の近くにあるとは限りません。また、利用には一定の利用料がかかるほか、事業の性格上、事前登録が必要で、実際の利用にあたっては、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。※詳しい説明を次ページに掲載しています。

- 1. 病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ()日 ⇒ 問18-3へ
- 2. 利用できる施設等があればよいが、利用するかどうかはわからない
- 3. 居住地の近くであれば利用したいが、遠くであれば他の方法を考える ⇒ 問19へ
- 4. できるだけ家族で看る方針だが、利用できる施設があると安心できる
- 5. 利用したいとは思わない ⇒ 問18-4へ

問18-2で「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問18-3 病時・病後児保育施設等に子どもを預ける場合、居住地の近くになくても利用されますか。また、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

◇ 近くになくても利用しますか(はい ・ いいえ)

- 1. 他の施設(例: 幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
- 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
- 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例: ファミリー・サポート・センター等)
- 4. その他()

問18-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問18-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
- 2. 地域の事業の質に不安がある
- 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間 日数など)がよくない
- 4. 利用料がかかる・高い
- 5. 利用料がわからない
- 6. 保護者が仕事を休んで対応する
- 7. その他() ⇒ 問19へ

問18-1で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問18-5 その際、「できれば保護者のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

- 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ ()日 ⇒ 問19へ
- 2. 休んで看ることは考えられない ⇒ 問18-6へ

問18-5で「2. 休んで看ることは考えられない」に○をつけた方にうかがいます。

問18-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
- 2. 自営業なので休めない
- 3. その他()

問22-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□日 ⇒ 問22-3へ
- 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問22-4へ

ニーズ把握の精度を高めるため「できれば」を、希望程度の高さで選択項目を分割簡単な説明を設問文に追加

問22-3 問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 他の施設(例: 幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
- 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
- 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例: ファミリー・サポート・センター等)
- 4. その他() ⇒ 問23へ

「できれば」を省く施設と居住地との距離が利用の弊害になるかを把握する設問を追加

問22-4 問22-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
- 2. 地域の事業の質に不安がある
- 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間 日数など)がよくない
- 4. 利用料がかかる・高い
- 5. 利用料がわからない
- 6. 親が仕事を休んで対応する
- 7. その他() ⇒ 問23へ

問22-1で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください(数字は一律に一字)。

- 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □□日 ⇒ 問23へ
- 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問22-6へ

問22-6 問22-5で「2. 休んで看ることは考えられない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
- 2. 自営業なので休めない
- 3. 休暇日数が足りないので休めない
- 4. その他()

「3. 休暇日数～」は選択肢としての意図が明確でないので省く

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預り等の利用についてうかがいます。**

**推計上
必要**

問19 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も[]内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	[]日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	[]日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	[]日
4. ベビーシッター（居宅訪問型保育）	[]日
5. その他（ ）	[]日
6. 利用していない	

⇒ 問20へ

問19で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

19-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. その他（ ） | |

**推計上
必要**

問20 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を枠内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 []日
ア. 私用（買物、子ども（きょうだいを含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的	[]日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）の保護者の通院 等	[]日
ウ. 不定期の就労	[]日
エ. その他（ ）	[]日
2. 利用する必要はない	

省く 事業形態の希望を、計画作成に活用する見込みがないため省く

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□□日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	□□日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	□□日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	□□日
5. ベビーシッター	□□日
6. その他（ ）	□□日
7. 利用していない	

⇒ 問24へ

問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. その他（ ） | |

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 □□日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□□日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	□□日
ウ. 不定期の就労	□□日
エ. その他（ ）	□□日
2. 利用する必要はない	⇒ 問25へ

問24-1 問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） |
| 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等） |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ） |

推計上
必要

問 2 1 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	[] 泊
	イ 子育て家庭ショートステイを利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	[] 泊
	ウ イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	[] 泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	[] 泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	[] 泊
	カ その他()	[] 泊
2. なかった		

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	カ. その他()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
2. なかった		

イ. の名称を本市の事業名に変更
利用説明を下部に追加

問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ
問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

省く 量の見込みの補助資料としての意味づけがなくなったことから、利用価値が見込めないため省く

子育て家庭ショートステイ

児童・母子支援課 0798-35-3089

事業概要 保護者が一時的に子どもの養育が困難となった場合、原則7日間を限度に市が指定する児童福祉施設で預かります。

対象 0歳から18歳未満の子ども。原則として2歳児未満は、乳児院でお預りします。

利用料 1日・1人あたりの利用料は下記のとおりです。

対象	2歳児未満	2歳児以上
生活保護世帯、母子・父子の非課税世帯	0円	0円
非課税世帯、母子・父子の課税世帯	1,100円	1,000円
その他世帯	5,350円	2,750円

児童養護施設

三光塾
所在地/小松西町 2-6-30 [P.75 O-3]
電話/0798-41-4421

神戸婦人同協会子供の家
所在地/尼崎市若王子 3-16-3
電話/06-6491-8953

善照学園
所在地/山口町船坂字 2128-1 [P.70 D-5]
電話/078-904-3773

乳児院

明石乳児院
所在地/明石市大久保町大塚 2752-1
電話/078-936-1419

伊丹乳児院
所在地/伊丹市北野 3-48-2
電話/072-781-1744

小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

推計上
必要

問22 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。1～3年生、4年生、5年生、6年生になったときについて、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「留守家庭児童育成センター（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も[]内に数字でご記入ください。時間は、必ず24時間制でご記入ください。※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

過ごす場所	1～3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい
4. 児童館	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい
5. 放課後子ども教室	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい
6. 留守家庭児童育成センター(学童保育) → 下校時から	週[]日くらい ()時まで	週[]日くらい ()時まで	週[]日くらい ()時まで	週[]日くらい ()時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい
8. その他 (公民館、公園、放課後等デイサービスなど)	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい	週[]日くらい

- 「5. 放課後子ども教室」は地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
- 「6. 留守家庭児童育成センター」…利用料金等、下の説明をご参照ください。学童保育と呼ばれることもあります。国の事業では放課後児童クラブという名称になります。
- 「8. 放課後等デイサービス」は利用の必要があると認められた障害のある子どもが利用するものです。放課後や休業日に、生活向上のために必要な訓練や社会との交流の促進、その他の支援を行うものです。

留守家庭児童育成センター(学童保育)

一部 要申込

児童・母子支援課 0798-35-3659

概要 保護者が就労等により居間家庭にいない小学校1～3年生の児童に、授業の終了後、適切な遊びや生活の場を与えて健全な育成を図るための施設です。現在、全ての小学校区において実施しており、運営は指定管理者に委託しています。

対象年齢 小学1年生から小学3年生まで(障害のある子どもは、小学校6年生まで)

申込方法 小学校区の育成センターを運営する指定管理者まで。新年度の利用申込は、例年、12月～1月。詳細は冬頃の市政ニュース・市HP等でお知らせします。

利用要件 就労の場合、週4日以上、1日4時間以上の勤務など

利用料(月額) 8,200円(所得に応じて減免あり)
延長利用料:3,000円(生活保護世帯等、一部減免あり)
おやつ代等の実費:約2,500円程度(各センターにより異なります。)

世帯の課税状況等	通常利用料	延長保育料	おやつ代等	
生活保護世帯	0円	0円	2,500円程度 減免なし 施設により異なる	
市民税非課税世帯(ひとり親世帯等)				
市民税非課税世帯(上記以外の世帯)	2,000円			
市民税課税世帯 (所得割額)	～60,000円未満 60,000円以上～120,000円未満	4,100円 6,100円		3,000円
上記以外の世帯	8,200円			

※上記は、平成24年度時点の情報です。毎年、保育料等は見直されますので、詳しくは市HP又は担当課にお問い合わせください。

利用時間 ※日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は休みです。

項目	時間等
小学校の授業日	下校時～17:00(希望者は～19:00まで延長利用可)
小学校の休業日	8:30～17:00(希望者は～19:00まで延長利用可、ただし、土曜日は延長利用不可)

国の案では5歳以上限定であるが、希望の年齢別の傾向を把握するため全員を対象を拡大(集計で、5歳児以上の把握は可能)

問26と問27の内容が低高学年時の違いだけなので、高学年を4・5・6年に細分化し、一体とした設問に変更

「留守家庭児童育成センター(学童保育)」に名称を整える

児童館での実施はないので注釈を省く

8. その他に障害のある子どもが利用できる「放課後等デイサービス」を追加

「留守家庭児童育成センター(学童保育)」の説明資料を追加

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により居間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 [] 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 [] 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 [] 日くらい
4. 児童館 ※1	週 [] 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 [] 日くらい
6. 放課後児童クラブ[学童保育]	週 [] 日くらい → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 [] 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週 [] 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答
※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 [] 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 [] 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 [] 日くらい
4. 児童館 ※	週 [] 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 [] 日くらい
6. 放課後児童クラブ[学童保育]	週 [] 日くらい → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 [] 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週 [] 日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問22で「6. 留守家庭児童育成センター（学童保育）」に○をつけた方うかがいます。

問23 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、留守家庭児童育成センター（学童保育）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時 のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

利用の希望	利用したい時間帯
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	（ ）時から（ ）時まで
2. 4年生まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
3. 5年生まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
4. 6年生まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
5. 利用する必要はない	

（2）日曜日・祝日

利用の希望	利用したい時間帯
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	（ ）時から（ ）時まで
2. 4年生まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
3. 5年生まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
4. 6年生まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
5. 利用する必要はない	

問24 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童育成センター（学童保育）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時 のように24時間制でご記入ください。

利用の希望	利用したい時間帯
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	（ ）時から（ ）時まで
2. 4年生まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
3. 5年生まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
4. 6年生まで利用したい	（ ）時から（ ）時まで
5. 利用する必要はない	

問28 問26または問27で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方うかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

低高学年別の設問を低学年と4・5・6年の4階層に細分化
「留守家庭児童育成センター（学童保育）」に名称を整える

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

低高学年別の設問を低学年と4・5・6年の4階層に細分化
「留守家庭児童育成センター（学童保育）」に名称を整える

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 2 5 宛名のお子さんが生まれた時、保護者のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない
⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも)	⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問 2 5 - 1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 2. 育児休業給付のみ知っていた 3. 保険料免除のみ知っていた 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
--

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください(数字は一位に一字)。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない
⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも)	⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 2. 育児休業給付のみ知っていた 3. 保険料免除のみ知っていた 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
--

問25で母親が「2.取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問27へ

問25-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけて、さらにそれぞれの質問にもお答えください。

1. 育児休業取得後、職場に復帰した

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

実際の取得期間：()歳()ヶ月まで
希望：()歳()ヶ月まで

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

()歳()ヶ月

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。※1

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった

2. 年度初め以外の入所だった
それは、希望の時期と一致していましたか

1. 希望通りだった 2. 希望通りではなかった

希望通りではなかった方に理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動の時期に合わせるため
5. その他()

(2)「希望」より遅く復帰した方

1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他()

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった

「2. 利用しなかった」理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
2. 仕事が忙しかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 10. その他()

2. 現在も育児休業中である

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

3. 育児休業中に離職した

※1 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

統合 問30～30-7
を父母別に問う。
よりスムーズに回答
できるような回答
形式を変更
入所希望と入所の
タイミングについて、
4月入所以外にも
把握できるよう設
問を追加



問30で「2.取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問31へ

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

実際の取得期間	□ 歳 □□ ヶ月	希望	□ 歳 □□ ヶ月
---------	-----------	----	-----------

(2) 父親

実際の取得期間	□ 歳 □□ ヶ月	希望	□ 歳 □□ ヶ月
---------	-----------	----	-----------

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

□ 歳 □□ ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □□ ヶ月

問25で父親が「2.取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問27へ

問25-3 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけて、さらにそれぞれの質問にもお答えください。

1. 育児休業取得後、職場に復帰した

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

実際の取得期間：()歳()ヶ月まで
希望：()歳()ヶ月まで

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

()歳()ヶ月

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。※1

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった

2. 年度初め以外の入所だった
それは、希望の時期と一致していましたか
1. 希望通りだった 2. 希望通りではなかった
希望通りではなかった方に理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動の時期に合わせるため
5. その他()

(2)「希望」より遅く復帰した方

1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他()

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった

「2. 利用しなかった」理由は何か。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
2. 仕事が忙しかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 10. その他()

2. 現在も育児休業中である

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

3. 育児休業中に離職した

※1 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

問30-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他()

②父親

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他()

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他()

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他()

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった

(2) 父親

1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった

問26 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

問30-7で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()

問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

問31 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

各施設・事業の利用料（子育てガイドから）

私立幼稚園

各園で個別に設定されています。入園料が30,000円～130,000円。保育料が月額17,000円～30,000円。

市立幼稚園

●市立幼稚園の入園料と保育料

入園料は4歳児が10,000円、5歳児が5,000円、保育料は年額115,200円（月額9,600円）です。

認可保育所

●保育料

認可保育所の保育料は運営主体に関係なく、保護者の課税状況と子どもの年齢などにより決まります。また支払先は施設ではなく、市に支払います。

（平成25年度）

階層区分	世帯の課税状況等	保育料	
		3歳未満児	3歳以上児
A	生活保護世帯等	0円	0円
B	市民税非課税(母子・父子世帯等)	0円	0円
	市民税非課税(上記以外の世帯)	4,500円	3,000円
C	市民税課税世帯	10,400円	8,800円
D1	所得税額	9,500円未満	16,500円
D2		9,500円以上～40,000円未満	24,000円
D3		40,000円以上～56,000円未満	35,600円
D4		56,000円以上～103,000円未満	39,100円
D5		103,000円以上～129,000円未満	56,100円
D6		129,000円以上～413,000円未満	59,100円
D7		413,000円以上～734,000円未満	79,200円
D8		734,000円以上	98,800円
			41,000円

※階層を決定する所得は前年分の所得で、所得税額は世帯の合算です。また、所得税額を計算する際には、(特定増改築等)住宅借入金等特別控除、住宅耐震改修特別控除、寄付金控除、配当控除、外国税額控除、国税電子申告(e-tax)の利用による控除は適用しません。
 ※同じ世帯から2人以上の就学前児童が、認可保育所・幼稚園・認定こども園等を利用している場合は、2人目以降の保育料が减免される制度があります。(2人目：半額、3人目以降：無料)
 ※延長保育や3歳児以上の主食費、教材費等は保育料に含まれません。別途、各園が設定する利用料が必要です。
 ※上記は、平成25年度時点の情報です。保育料等は毎年、見直されますので、詳しくは保育所事業課(☎0798-35-3160)にお問い合わせください。

認定こども園

各園で設定されています。0～2歳は認可保育所と同じです。3歳～5歳は各園で設定されています。

家庭保育所・保育ルーム

●家庭保育所・保育ルーム保育料

階層区分	世帯の課税状況等	保育料	
		3歳未満児	3歳児
A	生活保護世帯等	0円	0円
B	市町村民税非課税世帯(母子・父子世帯等)	0円	0円
	市町村民税非課税世帯(上記以外の世帯)	1,900円	1,400円
C	市町村民税課税世帯	6,700円	4,800円
D1	所得税額	9,500円未満	7,400円
D2		9,500円以上～40,000円未満	17,500円
D3		40,000円以上～56,000円未満	26,500円
D4		56,000円以上～103,000円未満	29,400円
D5		103,000円以上～129,000円未満	34,800円
D6		129,000円以上～413,000円未満	37,100円
D7		413,000円以上～734,000円未満	40,000円
D8		734,000円以上	49,400円
			31,000円

※上記は、平成25年度時点の情報です。保育料等は毎年、見直されますので、詳しくは保育所事業課(☎0798-35-3160)にお問い合わせください。
 ※階層を決定する際の税の計算方法は認可保育所と同様です。
 ※入所児童の兄弟姉妹が、認可保育所・幼稚園・認定こども園等を利用している場合は、入所児童の保育料が减免される制度があります。

留守家庭児童育成センター

利用料 (月額) 8,200円 (所得に応じて減免あり)
 延長利用料: 3,000円 (生活保護世帯等、一部減免あり)
 おやつ代等の実費: 約2,500円程度 (各センターにより異なります。)

世帯の課税状況等	通常利用料	延長保育料	おやつ代等
生活保護世帯	0円	0円	2,500円程度 減免なし 施設により異なる
市民税非課税世帯(ひとり親世帯等)			
市民税非課税世帯(上記以外の世帯)	2,000円	3,000円	
市民税課税世帯 (所得割額) ~60,000円未満	4,100円		
60,000円以上~120,000円未満	6,100円		
上記以外の世帯	8,200円		

※上記は、平成24年度時点の情報です。毎年、保育料等は見直されますので、詳しくは市HP又は担当課にお問い合わせください。

ファミリー・サポート・センター

利用料金 下記の表のとおり

曜日・時間		利用料金 (30分あたり)
健康児	月~金曜日 7:00~19:00	400円
	土・日曜日、祝日、年末年始、上記以外の時間帯	450円
病児	月~土曜日 ※土曜日は右記利用料金にプラス100円。 ※日曜日・祝日は休業。	7:00~8:00 600円(土曜日は700円) 8:00~18:00 500円(土曜日は600円) 18:00~19:00 600円(土曜日は700円)

病児・病後児保育

利用料金 1日 2,000円(土曜日と同額。生活保護世帯は減免制度あり)
 給食費: 500円(弁当持参も可能)
 医療費: 受診した場合は自己負担額実費

子育て家庭ショートステイ

利用料 1日・1人あたりの利用料は下記のとおりです。

対象	2歳児未満	2歳児以上
生活保護世帯、母子・父子の非課税世帯	0円	0円
非課税世帯、母子・父子の課税世帯	1,100円	1,000円
その他世帯	5,350円	2,750円

保育所の一時預かりは、1時間当たり400円~4時間当たり2,500円で、年齢区分、時間区分により違いがあります。幼稚園の預かり保育についても、各園での設定になっています。

西宮市子ども・子育て支援事業計画作成のためのアンケート調査

(小学生用)

～調査ご協力のお願い～

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、次のページに掲載しております趣旨で、子ども・子育て支援事業に関する利用希望把握のためのアンケート調査を実施します。

このアンケートは、市内の小学生のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から無作為に選ばせていただいた 1,500 人の方にご協力をお願いしております。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 10 月

西宮市長 河野 昌弘

【ご記入に当たってのお願い】

1. アンケートはお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
3. 回答は、選択肢に をつけてお選びいただく場合と、数字等をご記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに 11 月 8 日(金)までにご投函ください。

本調査は、西宮市が下記調査会社に委託して実施しています。

調査主体・お問い合わせ先

西宮市健康福祉局こども部子育て企画課 担当：森山(モリヤマ)、疋田(ヒキタ)

電話：0798-35-3121 FAX：0798-35-5525

調査委託先

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 善積(ヨシヅミ)、山田(ヤマダ)

電話：06-7637-1460 FAX：06-7637-1479

回答するに当たってお読みください

西宮市では現在、「西宮市次世代育成支援行動計画」を定め、子どもの健全な成長やすべての家族の子育てを支える環境づくりを推進しているところです。

このたび、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を併せて実施することとなりました（平成 27 年度から実施予定）。

そこで、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、また、「西宮市次世代育成支援行動計画」に基づいて実施している事業の推進や改善を行うために、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握することを目的として「就学前児童対象調査」と「小学校児童対象調査」を行います。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

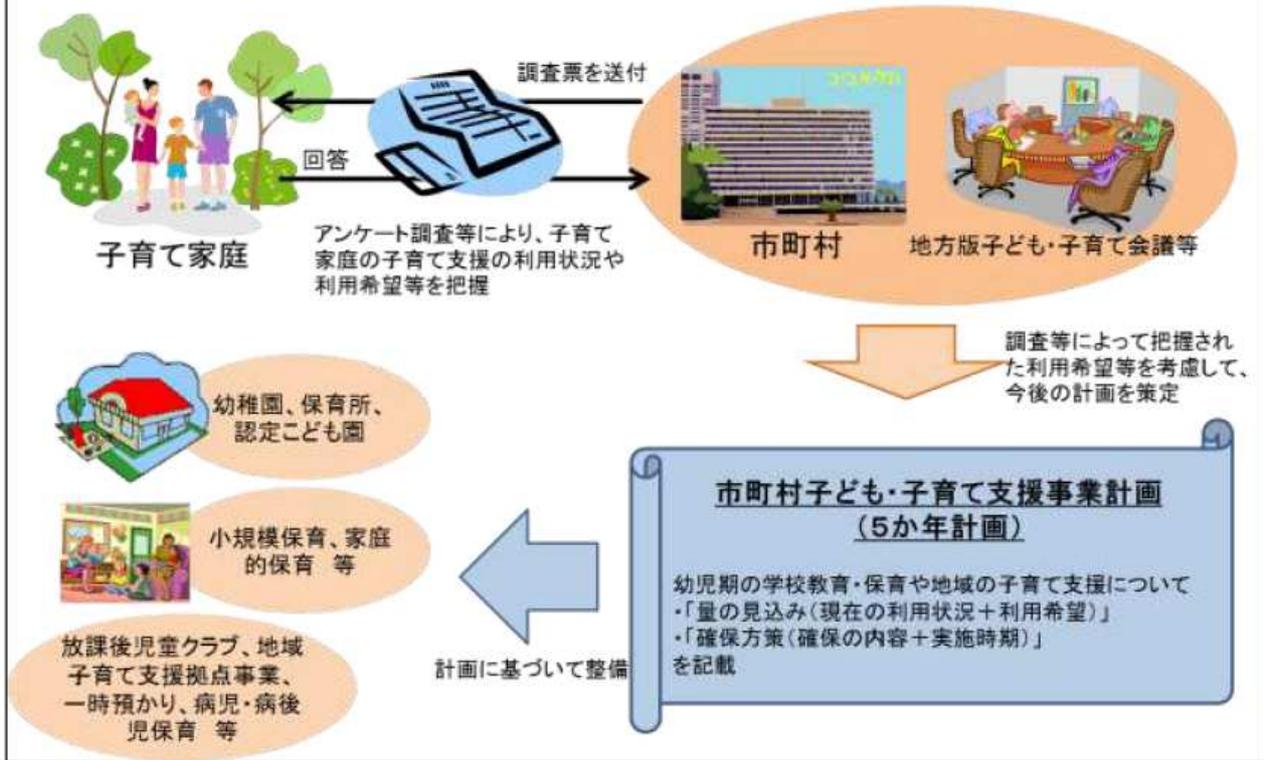
子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：問8までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問9以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

推計上
必要

問1 お住まいの小学校区はどこですか。当てはまる答えの番号1つに をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 浜脇 | 2. 西宮浜 | 3. 香櫨園 | 4. 安井 |
| 5. 夙川 | 6. 北夙川 | 7. 苦楽園 | 8. 大社 |
| 9. 神原 | 10. 甲陽園 | 11. 広田 | 12. 平木 |
| 13. 甲東 | 14. 上ヶ原 | 15. 上ヶ原南 | 16. 段上 |
| 17. 段上西 | 18. 樋ノ口 | 19. 高木 | 20. 瓦木 |
| 21. 深津 | 22. 瓦林 | 23. 上甲子園 | 24. 津門 |
| 25. 春風 | 26. 今津 | 27. 用海 | 28. 鳴尾 |
| 29. 南甲子園 | 30. 甲子園浜 | 31. 高須 | 32. 高須西 |
| 33. 鳴尾東 | 34. 鳴尾北 | 35. 小松 | 36. 山口 |
| 37. 北六甲台 | 38. 名塩 | 39. 東山台 | 40. 生瀬 |

小学校区がわからない方は、送付封筒の宛名シールに校区名が記載されていますのでご参照ください。

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

推計上
必要

問2 宛名のお子さんの生年月を()内に数字でご記入ください。

西暦()年()月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

1. いない

2. いる

↳ きょうだい数()人 末子の生年月 西暦()年()月生まれ

推計上
必要

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

推計上
必要

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

推計上
必要

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてにをつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	}	問7 - 1 へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる		
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	}	問7 - 2 へ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる		
5. いずれもない		問8 へ

問7で「1.」または「2.」に つけた方にうかがいます。

問7 - 1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号 すべてに をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等への負担が大きく心配である
3. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
4. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
5. その他()

問7で「3.」または「4.」に つけた方にうかがいます。

問7 - 2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号 すべてに をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人への負担が大きく心配である
3. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
4. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
5. その他()

子育ての不安についてうかがいます。

問 8 子育てに関して不安や負担等を感じますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 2. なんとなく不安や負担を感じる |
| 3. あまり不安や負担等は感じない | 4. まったく感じない |
| 5. なんともいえない | |

問 8 - 1 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 子どもの発育・発達に関すること | 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 育児の方法がよくわからないこと | 4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと |
| 5. 子どもの病気や障害に関すること | 6. 話し相手や相談相手がいないこと |
| 7. 子どもとの時間を十分にとれないこと | 8. 近所に子どもの遊び友だちがいないこと |
| 9. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと | 10. 登園拒否等の問題について |
| 11. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること | |
| 12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと | |
| 13. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと | |
| 14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと | |
| 15. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場等まわりのみる目が気になること | |
| 16. 子どもを叱りすぎているような気がする | |
| 17. その他() | |

問 8 - 2 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | | |
|-------|-----------|-------|
| 1. あり | 問 8 - 3 へ | 2. なし |
|-------|-----------|-------|

問 8 - 2 で「1. あり」に をつけた方にうかがいます。

問 8 - 3 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 家族 | 2. 祖父母等の親族 |
| 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 職場の人 | 6. 子育て支援施設(児童館等) |
| 7. 保健所・保健福祉センター | 8. 幼稚園・保育施設等 |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. かかりつけの医師 |
| 11. 自治体の子育て関連担当窓口 | 12. インターネット・SNS |
| 13. その他() | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

推計上
必要

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1)母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに をつけて、さらにそれぞれの質問にもお答えください。 保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。 時間は必ず（例）8時～18時のように24時間制でお答えください。

1. フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間
 最も多いパターンと変則的な勤務の有無をお答えください
 ・家を出る時間（ ）時 帰宅時間（ ）時
 ・変則的な勤務（1.あり 2.なし）
2. フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間
 最も多いパターンと変則的な勤務の有無をお答えください
 ・家を出る時間（ ）時 帰宅時間（ ）時
 ・変則的な勤務（1.あり 2.なし）

 フルタイムへの転換希望はありますか
 1) フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2) フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3) パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4) パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
4. パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である

 フルタイムへの転換希望はありますか
 1) フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2) フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3) パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4) パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 就労したいという希望はありますか
 1) 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2) 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
 3) すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 希望する就労形態
 ア. フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）
 イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
 1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間
6. これまでに就労したことがない
 就労したいという希望はありますか
 1) 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2) 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
 3) すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 希望する就労形態
 ア. フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）
 イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
 1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

(2)父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに をつけて、さらにそれぞれの質問にもお答えください。 時間は必ず(例)8時～18時のように24時間制でお答えください。

1. フルタイム(1週5日程度、1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 1週当たり()日 1日当たり()時間
 最も多いパターンと変則的な勤務の有無をお答えください
 ・家を出る時間()時 帰宅時間()時
 ・変則的な勤務(1.あり 2.なし)

2. フルタイム(1週5日程度、1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

3. パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 1週当たり()日 1日当たり()時間
 最も多いパターンと変則的な勤務の有無をお答えください
 ・家を出る時間()時 帰宅時間()時
 ・変則的な勤務(1.あり 2.なし)
 フルタイムへの転換希望はありますか
 1)フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2)フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4)パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

4. パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中である
 フルタイムへの転換希望はありますか
 1)フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2)フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4)パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 就労したいという希望はありますか
 1)子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2)1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい
 3)すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 希望する就労形態
 ア.フルタイム(1週5日程度、1日8時間程度の就労)
 イ.パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
 1週当たり()日 1日当たり()時間

6. これまでに就労したことがない
 就労したいという希望はありますか
 1)子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2)1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい
 3)すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 希望する就労形態
 ア.フルタイム(1週5日程度、1日8時間程度の就労)
 イ.パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
 1週当たり()日 1日当たり()時間

宛名のお子さんの放課後や休日の過ごし方についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんは、平日の放課後や休日等は、どのように過ごしていますか。下の表から「誰と」「どこで」の組み合わせで主なもの2つまで選んでそれぞれご記入ください。

	1		2	
	誰と	どこで	誰と	どこで
平日の放課後				
土曜日				
日曜日				

【誰と】	【どこで】
ア．ひとりで	公園で
イ．きょうだいと	自分の家で
ウ．友だちと	友だちの家で
エ．保護者や祖父母（大人）と	児童館や図書館、公民館など公共の施設で
オ．地域の人と	学習塾や習い事教室で
カ．その他	留守家庭児童育成センターで 1
	放課後子ども教室 2
	その他

- 1 「留守家庭児童育成センター」については、下に説明を掲載しています。
- 2 「放課後子ども教室」は地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

留守家庭児童育成センター（学童保育） 一部 要申込

☎ 児童・母子支援課 0798-35-3659

概要	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1～3年生の児童に、授業の終了後、適切な遊びや生活の場を与えて健全な育成を図るための施設です。現在、全ての小学校区において実施しており、運営は指定管理者に委託しています。	対象年齢	小学1年生から小学3年生まで (障害のある子どもは、小学校6年生まで)
利用要件	就労の場合、週4日以上、1日4時間以上の勤務など	申込方法	小学校区の育成センターを運営する指定管理者まで。新年度の利用申込は、例年、12月～1月。詳細は冬頃の市政ニュース・市HP等でお知らせします。
利用料（月額）	8,200円（所得に応じて減免あり） 延長利用料：3,000円（生活保護世帯等、一部減免あり） おやつ代等の実費：約2,500円程度（各センターにより異なります。）		

世帯の課税状況等	通常利用料	延長保育料	おやつ代等	
生活保護世帯	0円	0円	2,500円程度 減免なし 施設により異なる	
市民税非課税世帯(ひとり親世帯等)				
市民税非課税世帯(上記以外の世帯)	2,000円	3,000円		
市民税課税世帯 (所得割額)	～60,000円未満 60,000円以上～120,000円未満			4,100円 6,100円
上記以外の世帯	8,200円			

※上記は、平成24年度時点の情報です。毎年、保育料等は見直されますので、詳しくは市HP又は担当課にお問い合わせください。

項目	時間等
小学校の授業日	下校時～17:00（希望者は～19:00まで延長利用可）
小学校の休業日	8:30～17:00（希望者は～19:00まで延長利用可、ただし、土曜日は延長利用不可）

宛名のお子さんの留守家庭児童育成センター（学童保育）の 利用状況や今後の利用意向についてうかがいます。

留守家庭児童育成センター（学童保育）の説明は9ページにあります。

推計上
必要

問13 平日、土曜日に、宛名のお子さんは留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用されていますか。いずれかに1つに をつけてください。

	利用の有無 (1つに)	利用時間 (9時～18時のように24時間制で記入)
平日	1. 週4日以上利用している	下校時から
	2. 週1～3日利用している	[]時 []分まで
	3. 利用していない	
土曜日	1. ほぼ毎週利用している	[]時 []分から
	2. 月に1～2日利用している	[]時 []分まで
	3. 利用していない	

問13で 平日の「1.」または「2.」に をつけた方にうかがいます。

問13-1 平日に留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由として当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 子どもの教育や発達のため
2. 保護者が現在就労している
3. 保護者が就労予定がある / 求職中である
4. 保護者が家族・親族などを介護している
5. 保護者が病気や障害がある
6. 保護者が学生である
7. その他 () |
|---|

問13-2 現在通っている留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用してよかったと感じることはありますか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 子どもの成長につながった
2. 友だち（子ども）と遊べる機会ができた
3. 異年齢の子どもと交流できた
4. 安心して就労ができた
5. 親どうしの交流が深まった
6. その他 () |
|--|

問13-3 現在通っている留守家庭児童育成センター（学童保育）に対して要望はありますか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 利用時間を延長してほしい
2. 日曜日・祝日も開設してほしい
3. 施設・設備を改善してほしい
4. 保育内容を工夫してほしい
5. 現在のままでよい
6. その他 () |
|--|

問13-3で、「1. 利用時間の延長」を希望された方にうかがいます。

問13-4 延長を希望されるのは、どの時間帯ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。
また、具体的な延長希望時間を、数字でご記入ください。

- | |
|---|
| 1. 月から金までの終了時刻を延長して欲しい []時 []分までに
2. 土曜日の開始時刻をもっと早くして欲しい []時 []分から
3. 土曜日の終了時刻を延長して欲しい []時 []分までに
4. 夏休みの長期休暇中の開始時刻をもっと早くして欲しい []時 []分から |
|---|

すべての方にかがいます。

推計上
必要

問14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんは、平日、土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童育成センター（学童保育）の利用を希望されますか。それぞれ1つに をつけてください。 9ページの説明のように、入所要件があります。

	利用の希望の有無 (1つに)	利用希望時間 (24時間制で記入)	利用希望の学年 (1つに)
平日	1. 週4日以上利用したい	下校時から	(1・2・3 4・5・6)年生 まで利用したい
	2. 週1～3日利用したい	[]時 []分まで	
	3. 利用希望はない		
土曜日	1. ほぼ毎週利用したい	[]時 []分から	(1・2・3 4・5・6)年生 まで利用したい
	2. 月に1～2日利用したい	[]時 []分まで	
	3. 利用希望はない		
日曜日・ 祝日	1. ほぼ毎週利用したい	[]時 []分から	(1・2・3 4・5・6)年生 まで利用したい
	2. 月に1～2日利用したい	[]時 []分まで	
	3. 利用希望はない		
夏 長期 休暇 中の	1. ほぼ毎週利用したい	[]時 []分から	(1・2・3 4・5・6)年生 まで利用したい
	2. 月に1～2日利用したい	[]時 []分まで	
	3. 利用希望はない		

問14で 平日の「1.」または「2.」に をつけた方にかがいます。

問14-1 平日に留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用したい理由についてにかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 子どもの教育や発達のため
2. 保護者が現在就労している
3. 保護者が就労予定がある / 求職中である
4. 保護者が家族・親族などを介護している
5. 保護者が病気や障害がある
6. 保護者が学生である
7. その他 () |
|---|

子育て支援サービスの認知度・利用意向についてうかがいます。

問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。1)～19)の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかにをつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
1) 乳幼児健康診査 (4ヶ月、10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳児)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
2) 乳幼児等医療費の助成	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
3) 保健福祉センターの情報・相談・講座 (妊産婦・乳児健康・発達相談等、離乳食講座等)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
4) 西宮こども家庭センター(児童相談)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
5) 家庭児童相談室(市の児童相談)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
6) 子育てひろば(地域子育て支援拠点事業) (子育て総合センター、児童館、大学における親子交流や情報提供など)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
7) 保育所での子育て支援事業 (育児相談、短期体験保育、園庭開放等)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
8) 幼稚園での子育て支援事業 (子育て講座、育児相談、園庭開放等)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
9) 公民館における子育て支援事業 (家庭教育講座、講演会等)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
10) 発達や療育に関する相談事業 (わかばエール、障害者総合支援センターにしのみや、あんしん相談窓口など)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
11) 障害のある子どもの通園事業や各種支援事業 (わかば園、北山学園、その他障害児通所支援など)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
12) 子育て総合センター(津田町)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
13) みやっこキッズパーク(芦原町)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
14) 児童館・児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
15) 移動児童館(公民館で開催)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
16) 子育て地域サロン (社会福祉協議会分区のボランティアによる子育て支援事業)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
17) 育児支援家庭訪問事業 (特別な支援が必要な家庭へのヘルパー派遣)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
18) ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
19) にしのみや子育てガイド・子育て便利マップ・父 子手帳の冊子やホームページ等による情報提供	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の
両立支援制度についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに をつけ、該当する()内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親(いずれかに)	父親(いずれかに)
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも) </div>	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも) </div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所(園)などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
 15. その他()

問17で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

問17-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
 2. 現在も育児休業中である
 3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
 2. 現在も育児休業中である
 3. 育児休業中に離職した

問18 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

----- ----- ----- ----- -----

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

なお、宛名のお子さんが小学4年生～6年生の場合は、次のページの質問へお進みください。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

ここからはあて名のお子さん（小学4年生～6年生）ご本人がお答えください。

日ごろの学校生活や放課後・休日の過ごし方についておうかがいします。

問19 放課後は何を^{ほうかご}して遊ぶことが多いですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------------------------------|
| 1. 学校で遊んでいる | 2. 本を読んでいる |
| 3. 公園で遊んでいる | 4. 友だちの家で遊んでいる |
| 5. スポーツ活動をしている | 6. 外で遊んでいる |
| 7. 児童館で遊んでいる | 8. テレビを見ている |
| 9. ゲームをしている | 10. 自宅できょうだいと遊んでいる |
| 11. その他（ ） | 12. 習い事や塾 ^{じゅく} などで遊ぶ時間はない |

問20 あなたは留守家庭児童育成センター（学童^{がくどう}保育）を利用しましたか。いずれかに1つに をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 利用している（利用していた） | 2. 利用していない |
|-------------------|------------|

問20で「1.利用している（利用していた）」と回答した方にうかがいます。

問20-1 留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用してどのように思いましたか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 楽しかった | 2. いろいろな学年の友だちと遊べた |
| 3. いろいろな遊びができた | 4. 特にない |
| 5. その他（ ） | 6. わからない |

問20-2 あなたは高学年になっても留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用したいと思えます（思いました）か。いずれかに1つに をつけてください。

- | | |
|----------|------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない |
|----------|------------|

あなたの身の回りの遊び場やその環境についておうかがいします。

問2 1 今住んでいるところは遊び場が多いですか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 多い | 2. どちらともいえない |
| 3. 公園などはあるがしたい遊びができない | 4. 少ない |

問2 2 近くにあったらよいと思う遊び場などはどのようなものですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. ジャン글ジムやブランコなどの遊具がある公園 |
| 2. 子どもどうしの仲間づくりのためのサークルやクラブ活動ができるところ |
| 3. 木登りや泥んこ遊びなどができる広場 |
| 4. ボール遊びや鬼ごっこができる空き地や原っぱ |
| 5. 小動物や昆虫とふれあうことのできる場所 |
| 6. プールやグラウンドなどのスポーツ施設 |
| 7. 子どもが放課後などに集まって、子どもどうしで自主活動などができる場所 |
| 8. いろいろな図書を自由に読むことができる場所 |
| 9. 自習ができ、分からないところがあれば教えてもらえる場所 |
| 10. 工作など、もの作りの体験ができる講座がある場所 |
| 11. 英会話やパソコンなど役に立つ講座がある場所 |
| 12. 道具があり、遊び方を教えてくれる先生のいる場所 |
| 13. 学年が違う友だちどうしが交流できる場所 |
| 14. 子ども自身の悩みなどを聞き、相談にのってくれる場所 |
| 15. 障がいの状況にあわせて職員やボランティアが付き添ってくれる場所 |
| 16. 正しい行儀作法を教えてくれる場所 |
| 17. 子ども向けの映画や劇が見られる場所 |
| 18. その他 () |
| 19. 特にない |
| 20. わからない |

利用希望把握調査（ニーズ調査）項目 設問番号網掛けは国が指定した「量の見込みの推計上必要な項目」を示す。

設問群	就学 前版	小学 生版	設問内容	国の 案	次世 代 23	次世 代 21
居住地域	1	1	居住地校区			
家族の状況	2	2	子どもの生年月			
	3	3	子どもの人数、末子の生年月			
	4	4	回答者			
	5	5	配偶者の有無			
	6	6	主な子育て者			
育ちをめぐる環境	7	7	子どもをみてもらえる親族・知人の有無			
	7_1	7_1	祖父母等の親族にみてもらっている状況			
	7_2	7_2	友人・知人にみてもらっている状況			
子育ての不安	8	8	子育てに関する不安や負担の感じ方			
	8_1	8_1	悩んでいること、気になること			
	8_2	8_2	気軽に子育ての相談ができる人の有無			
	8_3	8_3	子育てについての相談先（誰・どこ）			
保護者の就労状況	9	9	（父母ごと）保護者の就労の有無、週就労日数と日就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻、フルタイム就労への転換希望の有無と見込み<小問を統合して表組に>			
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	10		定期的な教育・保育事業の利用の有無			
	10_1		定期的にご利用している教育・保育事業内容			
	10_2		定期的にご利用している教育・保育事業の現在の利用日数時間			
	10_3		実施場所が居住行政区内か他行政区か			
	10_4		ご利用している理由			
	10_5		ご利用していない理由			
	11		現状に関わらず利用したい事業			
	11_1		利用したい事業の希望利用日数時間			
	11_2		実施場所は居住行政区内か他行政区か			
11_3		事業選択の理由				
地域の子育て支援事業の利用状況	12	15	地域の子育て支援事業の認知・経験・希望			
	13		地域子育て支援事業の「子育てひろば」の利用頻度状況			
	13_1		地域子育て支援事業の利用希望と頻度			
	14		類似事業の「地域サロン」の利用頻度状況			
	15	16	もっと力を入れて欲しい子育て支援			
土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	16		土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望。有無と頻度			
	16_1		僅頻度利用希望の理由			
	17		幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育事業利用希望。有無と頻度			
	17_1		僅頻度利用希望の理由			
病気の際の対応	18		1年間の病気・ケガによる定期的な教育・保育事業が利用できなかった経験の有無			
	18_1		利用できなかった時の対処の方法と日数			
	18_2		その際の「病児・病後児のための保育施設」利用希望の有無			
	18_3		「病児・病後児のための保育施設」利用希望の事業形態			
	18_4		利用希望しない理由			
	18_5		父母休暇取得による看護希望の有無			
	18_6		休暇取得による看護を希望しない理由			

調査項目比較

設問群	就学前版	小学生版	設問内容	国の案	次世代 23	次世代 21
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等	19		私用・親の通院・不適の就労等の目的で不定期に利用している一時預り等			
	19_1		利用していない理由			
	20		利用希望。理由と日数。			
	21		保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）による泊を伴う預ける事態発生の有無と対処方法			
小学校就学後の放課後の過ごし方	22	13	低学年就学時、4・5・6年時の放課後の過ごし方の見込み。居場所と頻度。			
	23	11 14	放課後児童クラブ利用希望者の土曜日と日曜日・祝日の利用希望。有無と利用時間。			
	24	14	長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望。低高学年別の利用希望の有無と利用時間。			
職場の両立支援制度	25	17	父母ごとの育児休暇取得の有無、取得していない場合はその理由。			
	25_1		育児休業給付、保険料免除の制度認知			
	25_2	17_1	育児休業後の、職場復帰の状況、職場復帰した場合の、保育所入所タイミング、職場復帰時期の実際と希望、3歳までの育児休暇制度がある場合の取得希望期間、希望の時期に職場復帰しなかった理由、育児休業後の、職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無、短時間勤務制度を利用しなかった理由、必ず利用可能な保育事業がある場合の、育児休業中からの職場復帰希望時期 <小問を統合して表組に>			
全 般	26	18	教育・保育・子育て環境・支援（自由記述）			

小学生版で追加した項目 () は、就学前版と部分的に重複があることを示す

小学生版	小学生版	設問項目	国の案	次世代 23	次世代 21
放課後や休日の過ごし方	10	放課後・休日の過ごし方の現状			
	(11)	放課後・休日の過ごし方の希望	()		
	12	望ましい遊び場の条件			
留守家庭児童育成センターの利用状況や今後の利用意向	13	育成センターの利用状況。週頻度と利用時間	()		
	13_1	利用の理由			
	13_2	利用してのよかったこと			
	13_3	改善要望			
	13_4	時間延長の具体的な希望	()		
高学年児童への設問	14_1	平日利用希望の理由			
	19	放課後・休日の過ごし方			
	20	育成センター利用の有無			
	20_1	利用しての感想			
	20_2	育成センターの高学年時の利用希望の有無			
	21	近隣の遊び場の状況			
	22	希望する遊び場の条件			

調査項目比較

国の案から省いた項目

設問群	設問内容			
育ちをめぐる環境	子育てにかかわっている関係者・施設			
	子育てに最も影響すると思う環境			
	子育てサポートに対する希望（自由記述）			
	「一時預り等」の利用希望の事業形態。			
	親族・知人にみてもらった場合の困難度			

小学生には該当しないため、小学生版の調査で省いた項目

就学前版での説問番号	設問内容
10	定期的な教育・保育事業の利用の有無
10_1	定期的にご利用している教育・保育事業内容
10_2	定期的にご利用している教育・保育事業の現在の利用日数時間
10_3	定期的にご利用している教育・保育事業の実施場所が居住行政区内か他行政区か
10_4	ご利用している理由
10_5	ご利用していない理由
11	現状に関わらず利用したい事業
11_1	利用したい事業の希望利用日数時間
11_2	利用したい教育・保育事業の実施場所は居住行政区内か他行政区か
11_3	事業選択の理由
12	地域子育て支援事業の利用頻度状況
13	地域子育て支援事業の利用希望及びその頻度
16	土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望。有無と頻度
16_1	僅頻度利用希望の理由
17	幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育事業利用希望。有無と頻度
17_1	僅頻度利用希望の理由
18	この1年間の病気・ケガによる定期的な教育・保育事業が利用できなかった経験の有無
18_1	利用できなかった時の対処の方法と日数
18_2	その際の「病児・病後児のための保育施設」利用希望の有無
18_3	「病児・病後児のための保育施設」利用希望の事業形態
18_4	利用希望しない理由
18_5	父母休暇取得による看護希望の有無
18_6	休暇取得による看護を希望しない理由
19	私用・親の通院・不適の就労等の目的で不定期にご利用している一時預り等
19_1	ご利用していない理由
20	利用希望。理由と日数。
21	保護者の用事（冠婚葬祭、病気など）による泊を伴う預ける事態発生の有無と対処方法
22	低学年就学時の放課後の過ごし方の見込み。居場所と頻度。
23	高学年就学時の放課後の過ごし方の見込み。居場所と頻度。
24	放課後児童クラブ利用希望者の土曜日と日曜日・祝日の利用希望。有無と利用時間。
25	長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望。低高学年別の利用希望の有無と利用時間。
26_1	育児休業給付、保険料免除の制度認知
29_2	職場復帰した場合の、保育所入所のタイミング、職場復帰時期の実際と希望、3歳までの育児休業制度がある場合の取得希望期間、希望の時期に職場復帰しなかった理由、育児休業後の、職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無、短時間勤務制度を利用しなかった理由、必ず利用可能な保育事業がある場合の、育児休業中からの職場復帰希望時期